

平成25年度

歯及び口腔の健康づくりに関する報告書

栃木県

歯及び口腔の健康づくりに関する報告 について

栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例（平成 22 年栃木県条例第 50 号）第 10 条の規定により、歯及び口腔の健康づくりに関する報告書を提出します。

平成 25 年 9 月 17 日

栃木県知事 福田 富一

目 次

I	はじめに	p. 1
II	県内における歯及び口腔の健康づくりの状況について	
	1 1歳6か月児	p. 1
	2 3歳児	p. 4
	3 園児・児童・生徒	p. 7
	4 成人・高齢者	p. 12
III	本県における平成24年度歯科保健医療対策体系について	p. 16
IV	平成24年度に講じた施策について	
	1 歯や口腔と関係する病気等の予防の推進関連事業	p. 18
	2 歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及関連事業	p. 21
	3 障害児者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保関連事業	p. 23
	4 歯科保健医療提供体制の整備関連事業	p. 28
V	平成25年度に講じようとする施策について	p. 32
VI	資料：県内市町におけるライフステージごとの取組み(平成24年度)	p. 33

I はじめに

この報告書は、「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」（以下、「条例」という。）第10条の規定により、歯及び口腔の健康づくりの状況並びに県が歯及び口腔の健康づくりの推進に関して講じた施策及び講じようとする施策について、県議会に報告し、県民に公表するものです。

- ・県内における歯及び口腔の健康づくりの状況を記載しました。
- ・平成24年度に講じた個別の事業内容と実績を記載しました。
- ・平成25年度に講じようとする施策について記載しました。

II 県内における歯及び口腔の健康づくりの状況について

県内の歯や口腔の健康づくりの状況について、各ライフステージ（1歳6か月児・3歳児・園児・児童・生徒・成人・高齢者）毎に報告します。

1 1歳6か月児

1歳6か月児については、母子保健法（昭和40年法律第141号）第12条により、市町村に対し、満1歳6か月を超え満2歳に達しない幼児の健康診査を実施することが義務付けられています。その健康診査の項目には、「歯及び口腔の疾病及び異常の有無」も含まれているため、健康診査の結果に基づき、県内の1歳6か月児のむし歯の状況について報告します。

(1) 県内における健康診査の実施状況について

平成23年度における対象者数は県内全域では16,947人であり、うち健康診査の受診者数は16,348人でした。受診者のうち、むし歯がある1歳6か月児は356人でした（表1）。

表1 1歳6か月児健康診査実施状況（H23）

地 域	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	むし歯の 無い者 (人)	むし歯の ある者 (人)	むし歯有病 者率 (%)	むし歯の 総本数 (本)	1人平均 むし歯数 (本)
宇都宮市	5,009	4,846	96.7	4,754	92	1.90	311	0.06
県西地域	1,385	1,326	95.7	1,297	29	2.19	60	0.05
県東地域	1,250	1,201	96.1	1,177	24	2.00	75	0.06
県南地域	4,106	3,980	96.9	3,883	97	2.44	301	0.08
県北地域	3,162	3,031	95.9	2,962	69	2.28	210	0.07
安足地域	2,035	1,964	96.5	1,919	45	2.29	142	0.07
県合計	16,947	16,348	96.5	15,992	356	2.18	1,099	0.07

栃木県保健福祉部子ども政策課「平成24年度版とちぎの母子保健」掲載データから作成

○県西地域：鹿沼市、日光市

○県東地域：真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町

○県南地域：栃木市、小山市、下野市、上三川町、壬生町、野木町、岩舟町

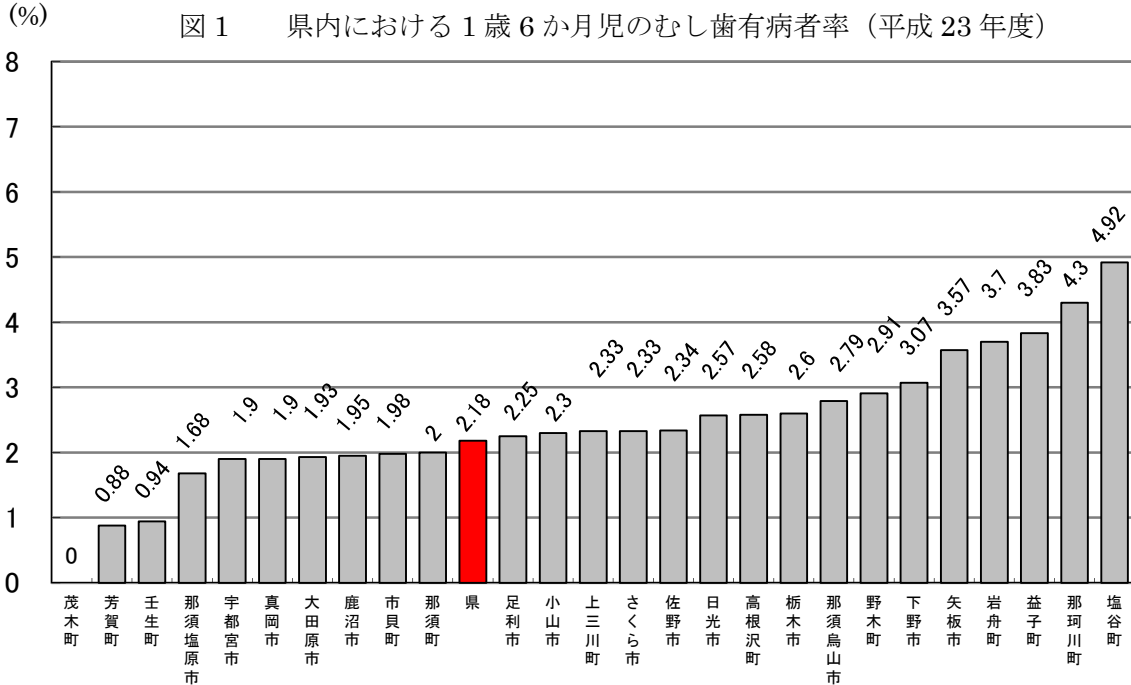
○県北地域：大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町

○安足地域：足利市、佐野市

(2) むし歯有病者率について

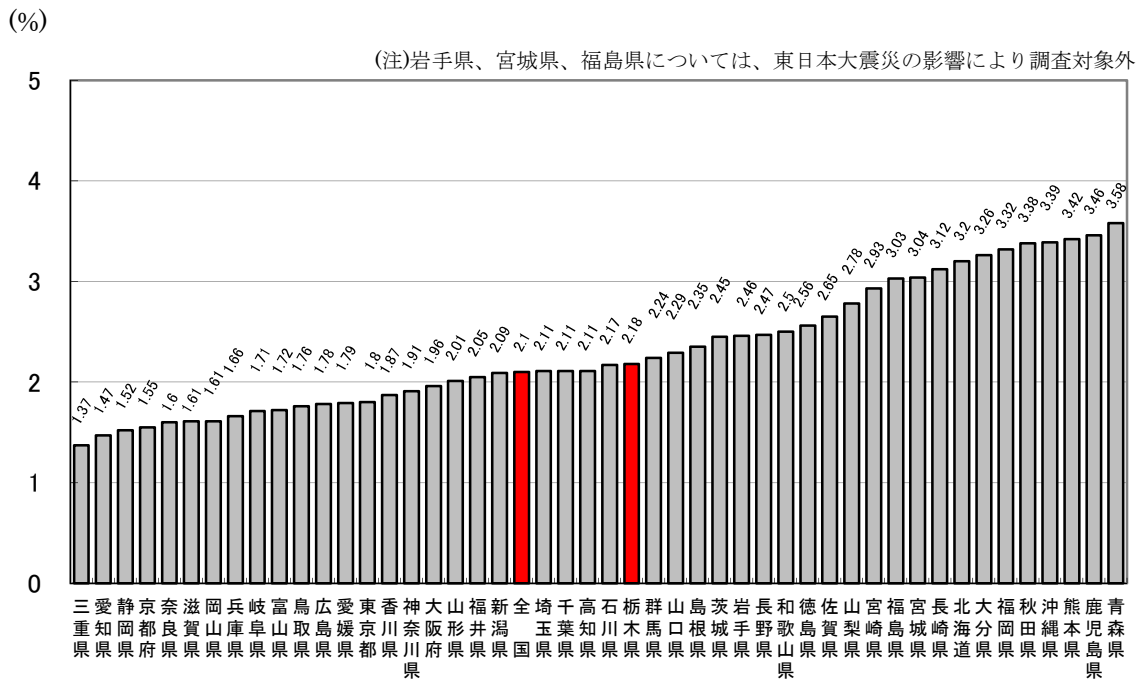
平成 23 年度におけるむし歯有病者率は県平均が 2.18%であり、県内で最も有病者率が高かったのは塩谷町で 4.92%、最も低かったのは茂木町で 0.00%でした（図 1）。

都道府県別をみると、全国平均が 2.10%であるのに対し、本県は 2.18%と平均より有病者率が高く、第 25 位でした（図 2）。



栃木県保健福祉部こども政策課「平成 24 年度版とちぎの母子保健」から作成

図 2 都道府県別 1 歳 6 か月児むし歯有病者率（平成 23 年度）



厚生労働省「平成 23 年度母子保健課所管国庫補助事業等に係る実施状況調べ」から作成

2 3歳児

3歳児についても、母子保健法（昭和40年法律第141号）第12条により、市町村に対し、満3歳を超え満4歳に達しない幼児の健康診査を実施することが義務付けられています。その健康診査の項目には、「歯及び口腔の疾病及び異常の有無」も含まれているため、健康診査の結果に基づき、県内の3歳児のむし歯の状況について報告します。

(1) 県内における健康診査の実施状況について

平成23年度における対象者数は県内全域では17,417人であり、うち健康診査の受診者数は16,673人でした。受診者のうち、むし歯がある3歳児は3,538人でした（表2）。

表2 3歳児健康診査実施状況（H23）

地域	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	むし歯の 無い者 (人)	むし歯の ない者の 割合 (%)	むし歯の ある者 (人)	むし歯 有病者 率 (%)	むし歯の 総本数 (本)	1人平均 むし歯数 (本)
宇都宮市	4,966	4,625	93.1	3,801	82.18	824	17.82	3,140	0.68
県西地域	1,607	1,511	94.0	1,165	77.10	346	22.90	1,237	0.82
県東地域	1,275	1,235	96.9	1,003	81.21	232	18.79	925	0.75
県南地域	4,333	4,207	97.1	3,216	76.44	991	23.56	3,566	0.85
県北地域	3,201	3,108	97.1	2,432	78.25	676	21.75	2,496	0.80
安足地域	2,035	1,987	97.6	1,518	76.40	469	23.60	1,971	0.99
県合計	17,417	16,673	95.7	13,135	78.78	3,538	21.22	13,335	0.80

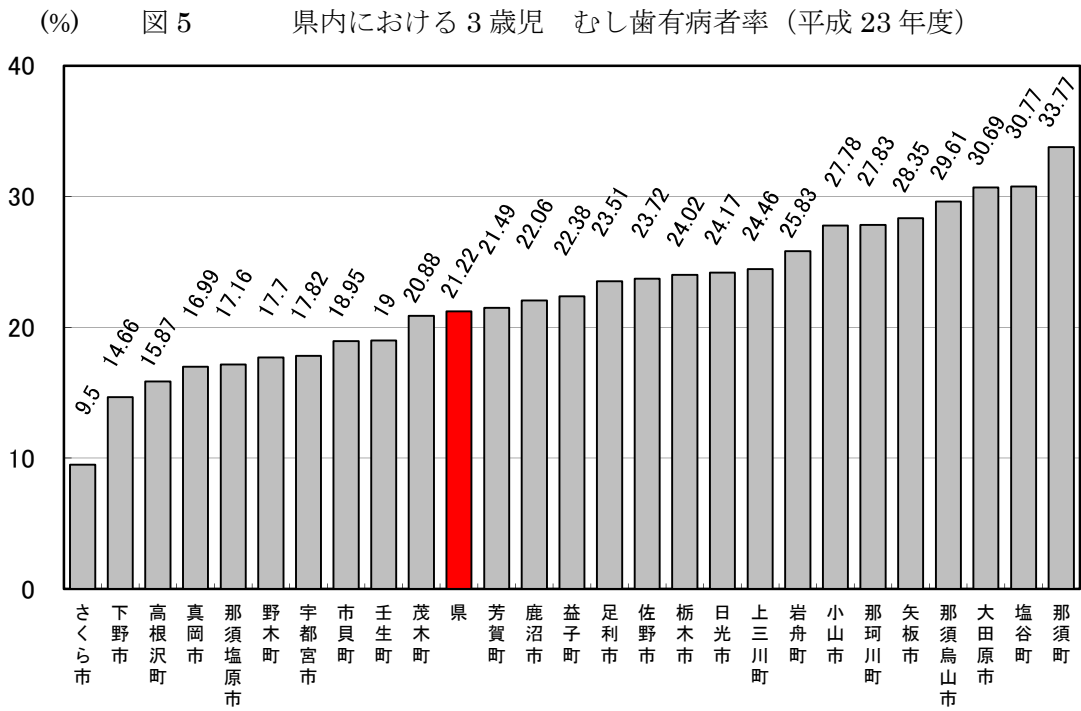
栃木県保健福祉部子ども政策課「平成24年度版とちぎの母子保健」から作成

- 県西地域：鹿沼市、日光市
- 県東地域：真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町
- 県南地域：栃木市、小山市、下野市、上三川町、壬生町、野木町、岩舟町
- 県北地域：大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町
- 安足地域：足利市、佐野市

(2) むし歯有病者率について

平成 23 年度におけるむし歯有病者率は県平均が 21.22%であり、県内で最も有病者率が高かったのは那須町で 33.77%、最も低かったのはさくら市で 9.5%でした (図 5)。

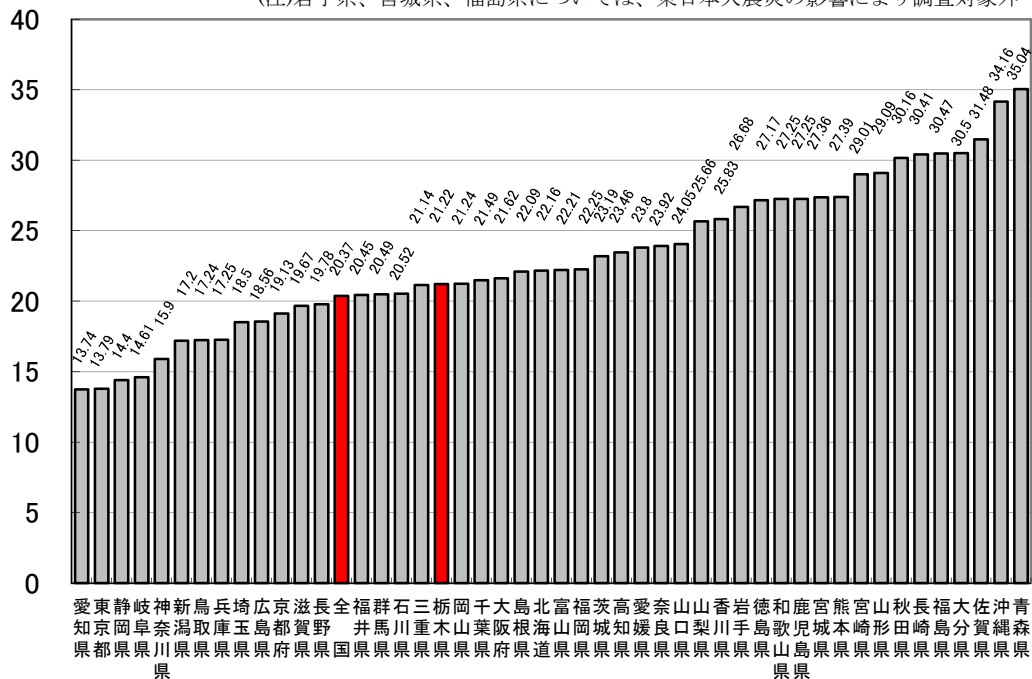
都道府県別をみると、全国平均が 20.37%であるのに対し、本県は 21.22%と平均より有病者率が高く、第 18 位でした (図 6)。



栃木県保健福祉部子ども政策課「平成 24 年度版とちぎの母子保健」掲載データから作成

(%) 図 6 都道府県別 3 歳児むし歯有病者率 (平成 23 年度)

(注)岩手県、宮城県、福島県については、東日本大震災の影響により調査対象外



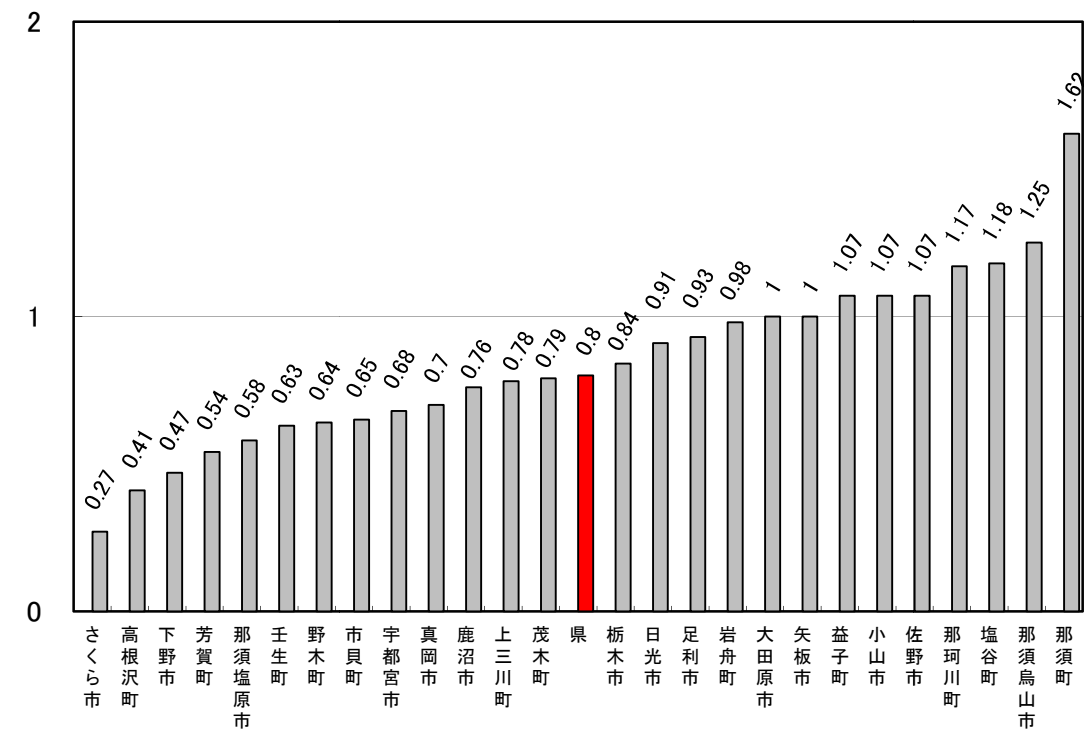
厚生労働省「平成 23 年度母子保健課所管国庫補助事業等に係る実施状況調べ」から作成

(3) 1人平均むし歯数について

平成23年度における1人平均むし歯数は県平均が0.80本であり、県内で最もむし歯数が多かったのは那須町で1.62本、最も少なかったのはさくら市で0.27本でした(図7)。

都道府県別をみると、全国平均が0.74本であるのに対し、本県は0.80本と平均より1人平均むし歯数が多く、第23位でした(図8)。

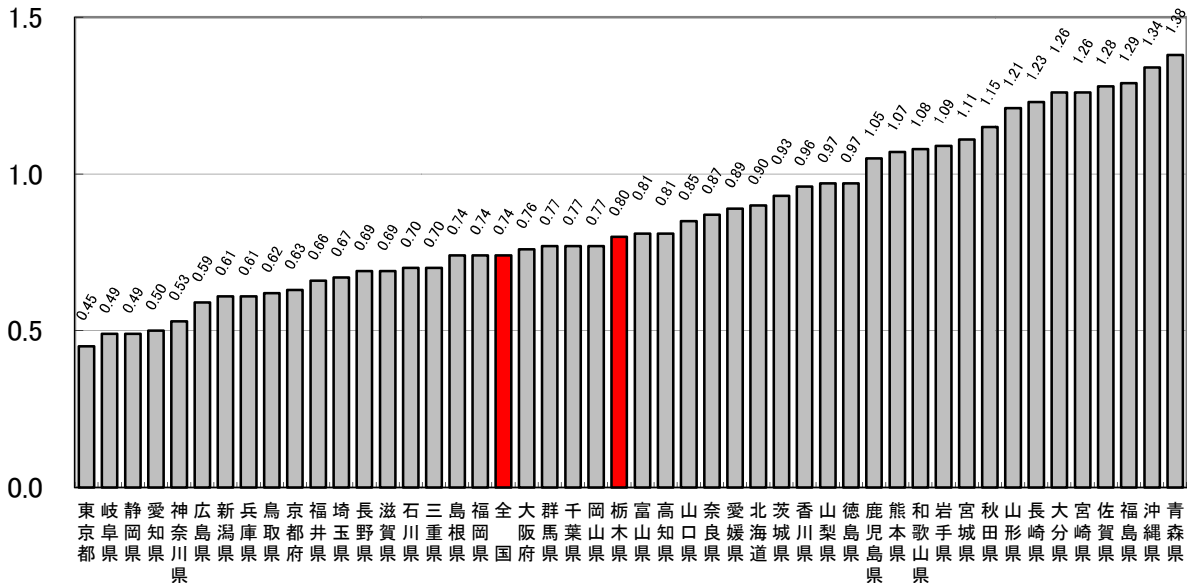
図7 県内における3歳児一人平均むし歯数(平成23年度)



栃木県保健福祉部こども政策課「平成24年度版とちぎの母子保健」から作成

(本) 図8 都道府県別 3歳児一人平均むし歯数(平成23年度)

(注)岩手県、宮城県、福島県については、東日本大震災の影響により調査対象外



厚生労働省「平成23年度母子保健課所管国庫補助事業などに係る実施状況調べ」から作成

3 園児・児童・生徒

園児（翌学年の初めから学校に入学予定の園児）については、学校保健安全法（昭和 33 年法律第 56 号）第 11 条により市町村の教育委員会に、児童・生徒については同法第 13 条第 1 項により各学校に対して、健康診断をすることが義務付けられています。

園児に対しての健康診断では「歯及び口腔の疾病及び異常の有無は、齲歯、歯周疾患、不正咬合その他の疾病及び異常について検査する」こと、児童・生徒に対しての健康診断では「歯及び口腔の疾病及び異常の有無」が定められているため、健康診断の結果に基づき、県内の園児・児童・生徒の歯の状況について報告します。

(1) むし歯の被患率の推移について

ア.園児（幼稚園児）

県内の幼稚園児（5 歳児）におけるむし歯被患率については、減少する傾向がみられ、平成 24 年度は 41.8%まで減少しました（表 3）。しかし、全国平均と比べると、平成 16,24 年度以外の全ての年度において本県の被患率が上回っています（図 9）。

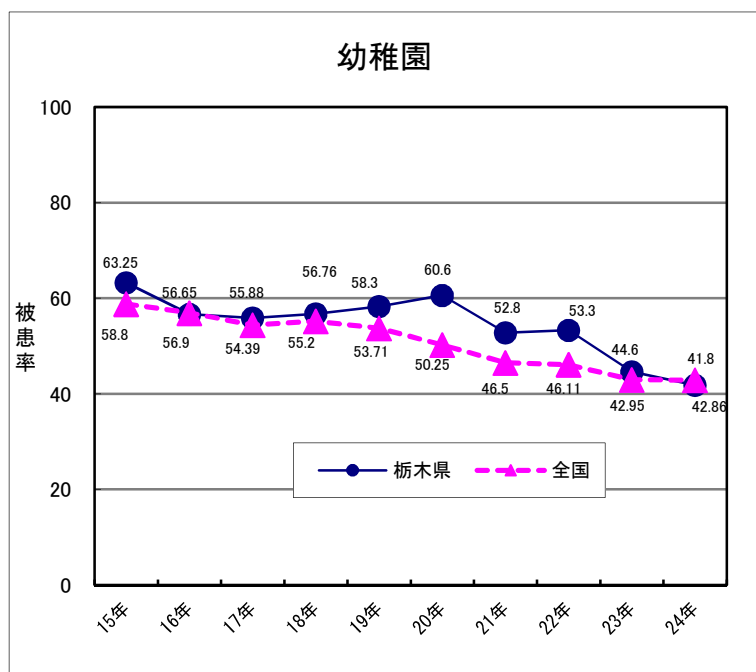
表 3 幼稚園（5 歳児）におけるむし歯の被患率の推移

(単位%)

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	
幼稚園	むし歯	計	63.25	56.65	55.88	56.76	58.30	60.60	52.80	53.30	44.60	41.80
		処置完了者	23.32	19.72	17.69	15.49	23.30	24.72	20.70	17.70	16.20	16.10
		未処置歯ある者	39.93	36.94	38.19	41.27	35.00	35.89	32.20	35.60	28.30	25.80

文部科学省「学校保健統計調査」より

図 9 全国平均との比較



文部科学省「学校保健統計調査」より

イ.小学生

県内の小学生のむし歯被患率については、減少する傾向がみられ、ここ数年については60%前後で推移しています（表4）。しかし、全国平均と比べると、全ての年度において本県の被患率が上回っている状況にあります（図10）。

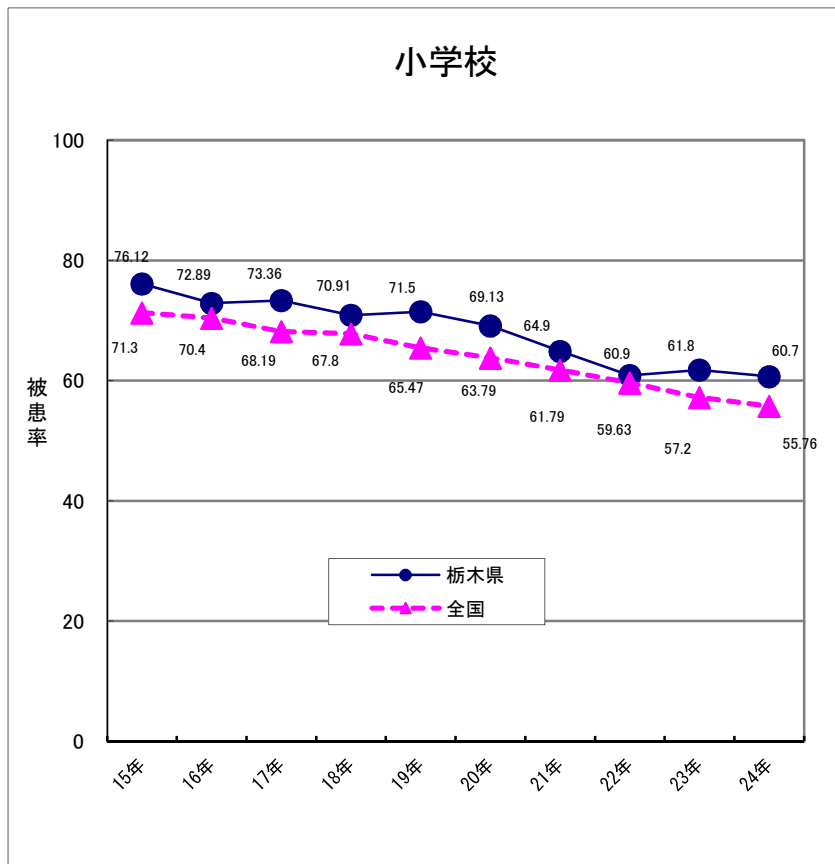
表4 小学校におけるむし歯の被患率の推移

(単位%)

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	
小学校	むし歯	計	76.12	72.89	73.36	70.91	71.50	69.13	64.90	60.90	61.80	60.70
		処置完了者	35.96	32.50	32.46	31.76	32.20	31.53	29.00	26.70	28.70	26.00
		未処置歯有る者	40.16	40.39	40.91	39.15	39.20	37.60	35.90	34.20	33.10	34.70

文部科学省「学校保健統計調査」より

図10 全国平均値との比較



文部科学省「学校保健統計調査」より

ウ.中学生

県内の中学校のむし歯被患率についても、減少する傾向がみられており、ここ数年については50%前後で推移しています(表5)。全国平均と比べると、全国平均とほぼ同じ率であった平成22年度を除き本県の被患率が上回っている状況にあります(図11)。

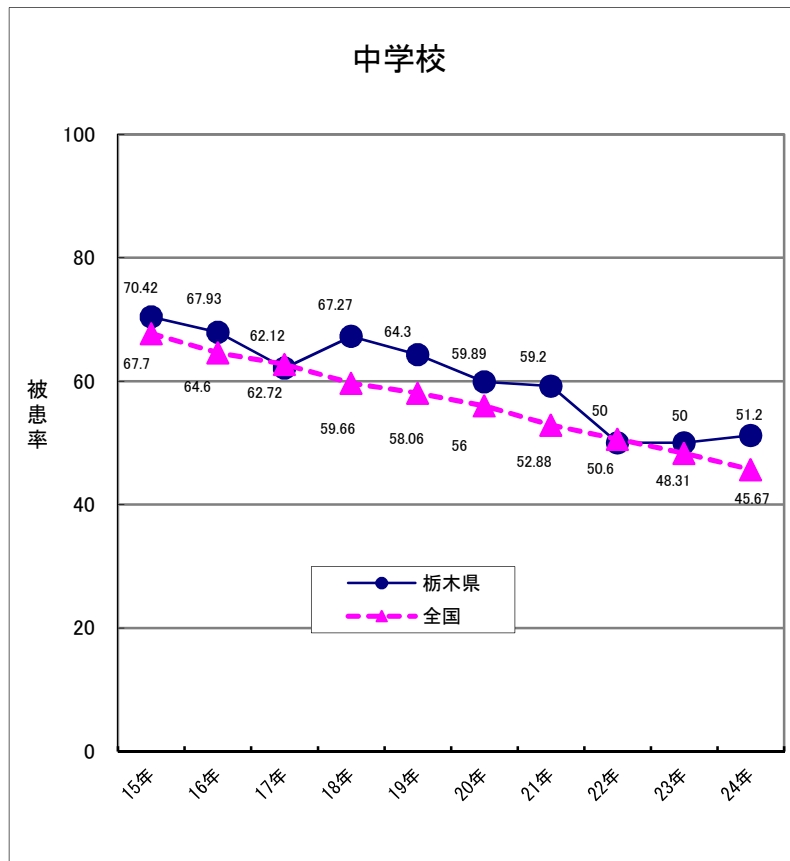
表5 中学校におけるむし歯の被患率の推移

(単位%)

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	
中学校	むし歯	計	70.49	67.93	62.12	67.27	64.30	59.89	59.20	50.00	50.00	51.20
		処置完了者	41.06	37.88	33.05	36.82	33.20	33.51	34.40	29.60	28.30	30.30
		未処置歯有る者	28.43	30.05	29.07	30.44	31.10	26.38	24.80	20.40	21.70	20.80

文部科学省「学校保健統計調査」より

図11 全国平均値との比較



文部科学省「学校保健統計調査」より

工.高校生

県内の高等学校のむし歯被患率についても、減少する傾向がみられますが、ここ数年については65%前後で推移しています（表6）。また、全国平均と比べると、全ての年度において本県の被患率が上回っている状況にあります（図12）。

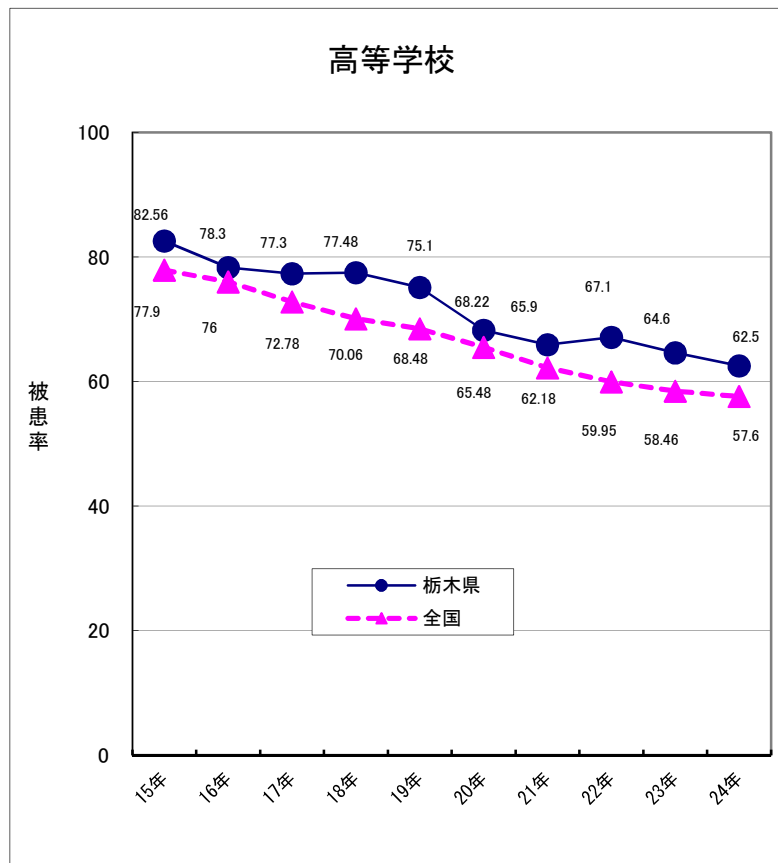
表6 高等学校におけるむし歯の被患率の推移

(単位%)

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	
高等学校	むし歯	計	82.56	78.30	77.30	77.48	75.10	68.22	65.90	67.10	64.60	62.50
		処置完了者	52.41	48.20	47.02	45.78	42.30	41.85	37.40	39.60	36.50	35.50
		未処置歯有る者	30.15	30.10	30.28	31.68	32.90	26.37	28.50	27.50	28.10	27.20

文部科学省「学校保健統計調査」より

図12 全国平均値との比較



文部科学省「学校保健統計調査」より

(2) 12歳の永久歯の1人当たり平均むし歯数

12歳の1人当たり平均むし歯数は、永久歯が生えそろった直後の指数となるため、国際的な判断基準（WHO：世界保健機構）となっています。

12歳の永久歯の1人当たり平均むし歯数についても減少する傾向がみられており、平成22、23年度においては1.4歯と全国平均に近付きましたが、平成24年は1.5歯でした（表7）。全国平均との差は縮まる傾向にありましたが、平成24年度は広がっています（図13）。

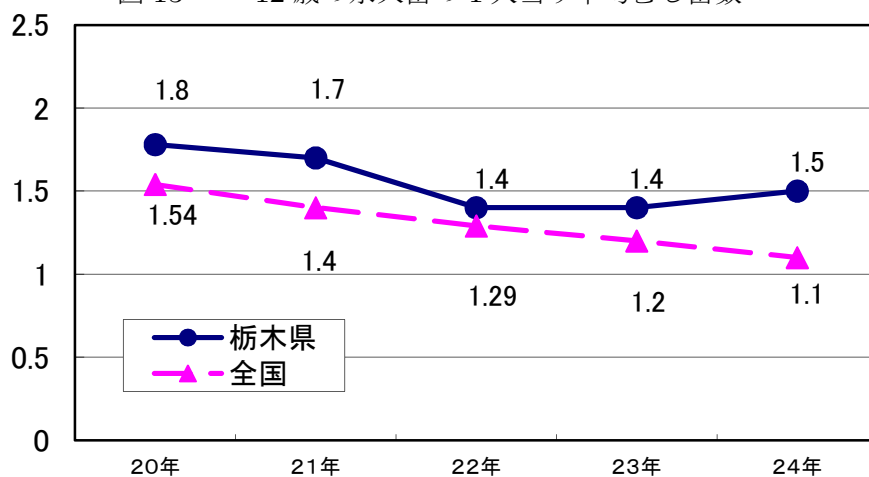
表7 平成24年度 12歳の永久歯の1人当たり平均むし歯等数
(単位：本)

栃木県	区分	計	喪失歯数	むし歯（う歯）		
				計	処置歯数	未処置歯数
	計	1.5	0.0	1.4	1.0	0.4
	男	1.4	0.0	1.4	1.0	0.4
	女	1.5	0.0	1.5	1.1	0.4

全 国	区分	計	喪失歯数	むし歯（う歯）		
				計	処置歯数	未処置歯数
	計	1.10	0.02	1.08	0.69	0.39
	男	1.03	0.02	1.01	0.63	0.38
	女	1.17	0.02	1.15	0.76	0.39

文部科学省「学校保健統計調査」より

図13 12歳の永久歯の1人当たり平均むし歯数



文部科学省「学校保健統計調査」より

4 成人・高齢者

(1) 歯周疾患検診実施状況

成人・高齢者については、健康増進法（平成14年法律第103号）により、市町村は40歳、50歳、60歳及び70歳の住民を対象とした歯周疾患検診を実施するよう努めることとされています。そのため、歯周疾患検診を実施した市町村の実施状況及び検査結果について報告します。

ア.実施状況

平成23年度において、歯周疾患検診を実施した市町村は20市町村であり、県内市町村の実施率は76%を超える高い実施率でした。しかし、受診者数は4,899人とどまり、実施市町村の推計対象人口91,340人（平成24年3月末現在）に対して受診率は5.4%と依然低いことが分かりました。

イ.各市町実施状況一覧（平成23年度）

（単位：人）

市町名	受診者数			受診者数		検査結果			受診者数		検査結果		
				40歳		要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず	50歳		要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず
	計	男	女	男	女				男	女			
宇都宮市	1,637	480	1,157	111	330	382	26	33	47	211	231	14	13
鹿沼市	548	228	320	61	71	97	22	13	35	77	86	23	3
日光市	32	12	20	5	6	8	1	2	2	4	4	0	2
真岡市	385	139	246	32	54	75	7	4	17	48	53	4	8
益子町	78	32	46	6	8	13	1	0	8	13	16	2	3
茂木町	56	21	35	2	4	4	0	2	4	5	8	0	1
市貝町	16	6	10	1	5	6	0	0	1	0	1	0	0
芳賀町	38	17	21	1	4	4	1	0	2	6	5	2	1
栃木市	720	249	471	62	129	168	9	14	43	88	117	8	6
小山市	234	71	163	6	42	41	5	2	4	19	18	1	4
下野市	120	41	79	8	32	28	9	3	6	12	11	4	3
上三川町	69	24	45	6	11	13	2	2	4	10	12	1	1
壬生町	191	63	128	7	31	28	4	6	17	16	28	2	3
野木町	0	0	0										
岩舟町	14	2	12	1	1	2	0	0	0	2	2	0	0
大田原市	0	0	0										
矢板市	35	10	25	3	6	4	0	5	0	2	2	0	0
那須塩原市	547	215	332	40	87	106	3	18	28	67	80	2	13
さくら市	0	0	0										
那須烏山市	0	0	0										
塩谷町	0	0	0										
高根沢町	29	11	18	1	4	0	5	0	4	5	0	8	1
那須町	83	28	55	2	7	7	1	1	5	6	10	0	1
那珂川町	56	16	40	0	4	4	0	0	5	6	10	0	1
足利市	11	3	8	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0
佐野市	0	0	0										
計	4,899	1,668	3,231	356	839	994	96	105	232	597	694	71	64

市町村名	受診者数		検査結果			受診者数		検査結果		
	60歳		要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず	70歳		要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず
	男	女				男	女			
宇都宮市	77	299	354	10	12	245	317	520	15	27
鹿沼市	62	75	102	26	9	70	97	113	42	12
日光市	3	5	7	1	0	2	5	6	0	1
真岡市	36	76	100	7	5	54	68	99	9	14
益子町	8	19	20	5	2	10	6	12	2	2
茂木町	9	12	17	3	1	6	14	12	5	3
市貝町	1	4	5	0	0	3	1	4	0	0
芳賀町	4	5	6	3	0	10	6	10	4	2
栃木市	64	124	172	7	9	80	130	194	5	11
小山市	7	33	36	2	2	54	69	103	9	11
下野市	8	19	15	8	4	19	16	27	6	2
上三川町	4	12	13	0	3	10	12	20	2	0
壬生町	16	44	55	1	4	23	37	50	3	7
野木町										
岩舟町	0	7	7	0	0	1	2	3	0	0
大田原市										
矢板市	3	13	10	2	4	4	4	6	1	1
那須塩原市	64	100	138	7	19	83	78	132	5	24
さくら市										
那須烏山市										
塩谷町										
高根沢町	5	7	1	11	0	1	2	1	2	0
那須町	10	18	28	0	0	11	24	30	2	3
那珂川町	6	18	23	0	1	5	12	14	0	3
足利市	0	3	2	1	0	2	2	1	3	0
佐野市										
計	387	893	1,111	94	75	693	902	1,357	115	123

H25.3 健康増進課調べ

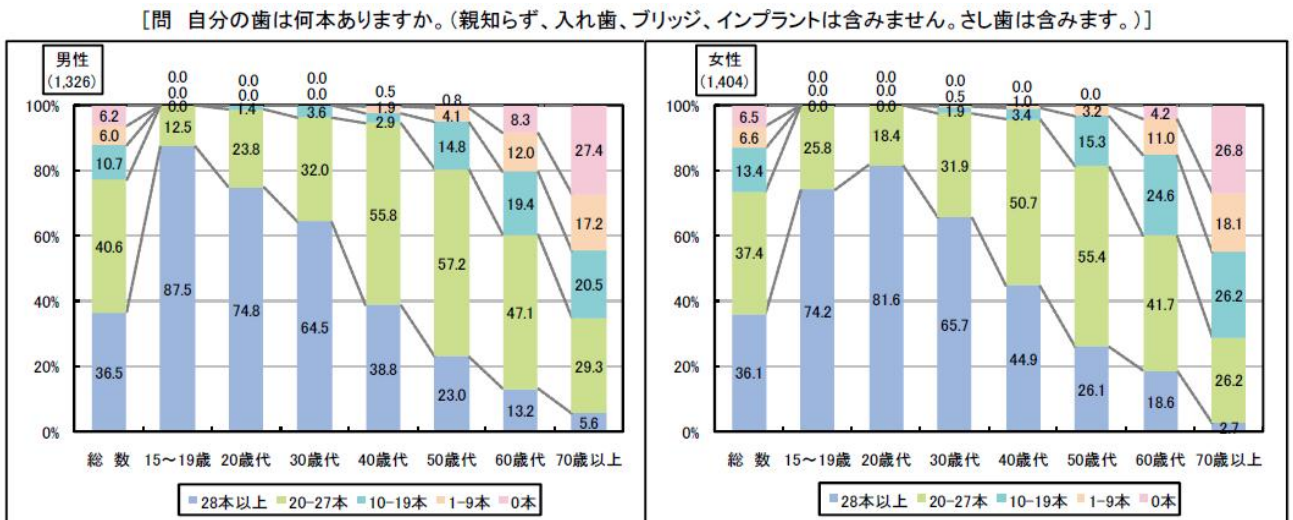
(2) 平成 21 年度県民健康・栄養調査の結果について

県民の食生活や身体状況、普段の生活習慣などの実態を把握し、その結果を今後の県民の健康づくりに役立てるために、平成 21 年度に県民健康栄養調査を実施しました。調査により分かった成人・高齢者の歯の状況について報告します。

ア.歯の本数について

自分の歯（親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは除く）の本数は、男性で 20 歳代から、女性でも 30 歳代から減少する傾向がみられました。男女とも 20 本以上を持つ者は 50 歳代ではおよそ 80%でしたが、60 歳代では 60%程度に減少していました（図 14）。

図 14 自分の歯の本数（15 歳以上）



H21 県民健康・栄養調査

イ.6024 及び 8020 達成者について

60 歳で 24 歯以上自分の歯を有する者（6024 達成者）の割合は、男女とも 50%以上（2 人に 1 人）となっており、平成 15 年に実施した同様の調査に比べて約 10 ポイント高い値でした。同様に 80 歳で 20 本以上自分の歯を有する者の割合は、男性で約 3 割、女性で約 2 割であり、前回調査に比べて、約 5%高い値でした（表 8）。

表 8 60 歳で 24 歯以上、80 歳で 20 歯以上の歯を有する者の割合

[問 自分の歯は何本ありますか。(親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含みません。さし歯は含みます。)]

	60 歳(55-64 歳)で 24 歯以上		80 歳(75-84 歳)で 20 歯以上	
	H15	H21	H15	H21
男性	40.0	50.6	22.2	28.1
女性	44.1	54.7	15.5	20.9

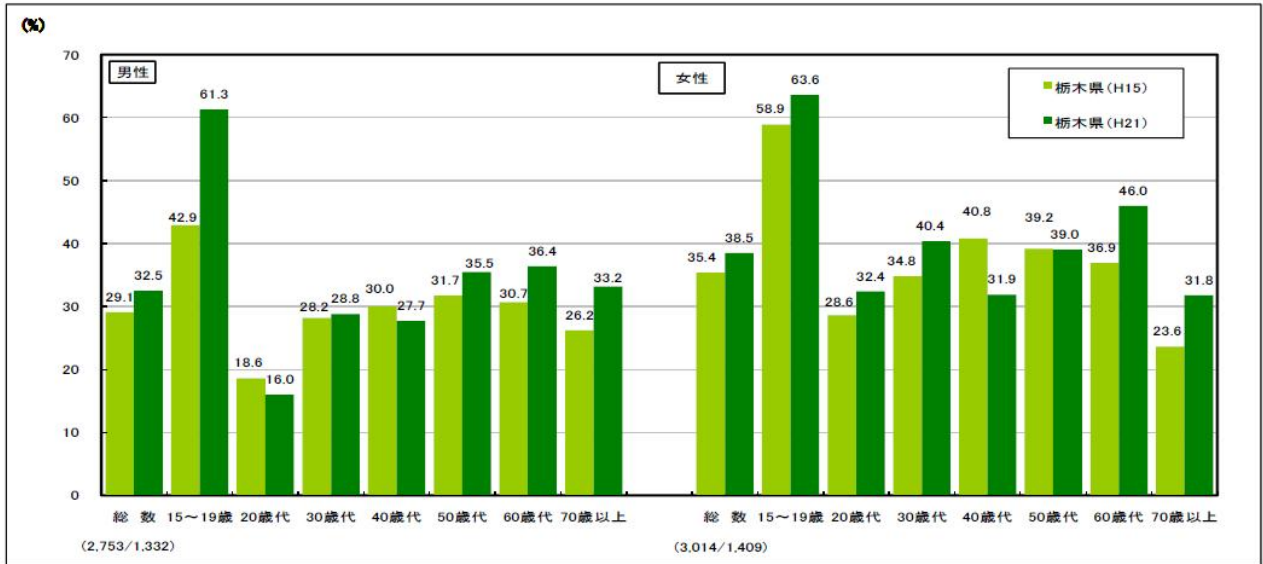
H21 県民健康・栄養調査

ウ.歯科検診の受診率について

歯科健診を受診した者の割合は、男性 32.5%、女性 38.5%でした。男女とも 15～19 歳では 60% を超えいずれも前回（平成 15 年）調査よりも増加していました。しかし、20 歳以上ではいずれも 50%には届かなく、また 70 歳代以上を除くすべての年齢階級では女性の受診率が男性を上回っていました（図 15）。

図 15 歯科健診の受診状況（15 歳以上）

図18 歯科健診の受診状況(15歳以上)[問 あなたは過去1年間に、歯科健康診査を受けましたか。]



H21 県民健康・栄養調査

工.参考：本県における脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病の死亡率について

歯及び口腔を健康に保つことは、生涯にわたる健康の保持及び増進に欠かせないものであり、脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病その他生活習慣病の予防のためにも非常に重要です。

参考として、都道府県別年齢調整死亡率（年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率）の全国と本県の比較を以下に示しますが、本県の脳血管疾患及び虚血性心疾患の死亡率は全国ワーストレベルにあります（表 9）。

表 9 都道府県別年齢調整死亡率の全国と本県の比較（人口 10 万対）（人）

	脳血管疾患		心疾患		うち 虚血性心疾患		糖尿病	
	男	女	男	女	男	女	男	女
全国	49.5	26.9	74.2	39.7	16.6	6.9	6.7	3.3
栃木県 (順位)	62.8 (44)	35.5 (46)	85.1 (43)	46.4 (44)	31.1 *(44)	13.0 *(44)	7.1 (26)	3.9 (37)

都道府県別にみた死亡の状況-平成 22 年都道府県別年齢調整死亡率-
順位は低率順、*については栃木県試算

Ⅲ 本県における平成24年度歯科保健医療対策体系について

区分 (栃木県歯科保健基本計画 施策体系毎)	事業名	IV 講じた 施策 (参照)	ライフステージ				実施主体			
			乳 幼 児	学 校	成 人	高 齢 者	県	教 育 委 員 会	市 町 村	関 係 機 関
歯や口腔と関係する病気等の予防の推進	健康相談	1-(1)	○	○	○	○	○			○
	各種広報による広報活動	1-(2)	○	○	○	○	○			○
	歯の健康センターにおける普及啓発	1-(3)	○	○	○	○	○			○
	乳幼児対象のフッ化物応用事業		○						○	○
	フッ化物応用事業(塗布・洗口)		○	○					○	○
	フッ化物洗口実施支援事業	1-(4)	○	○			○			○
	歯の衛生週間事業	1-(5)	○	○	○	○	○		○	○
	栃木県歯科保健賞	1-(6)	○	○	○	○	○	○		○
	よい歯のコンクール(親と子・三歳児)	1-(7)	○				○		○	○
	よい歯の優良学校コンクール	1-(8)		○			○	○		○
よい歯の図画ポスター・作文・標語コンクール	1-(9)		○			○	○		○	
歯科保健からの食育推進事業	1-(10)	○	○	○	○	○			○	
歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及	へき地巡回歯科診療事業	2-(1)	○	○	○	○	○			○
	健康教育	2-(2)	○				○			○
	永久歯等対策事業(保育所・幼稚園)	2-(3)	○				○			○
	妊産婦歯科健診、集団指導		○						○	
	乳幼児健診等での指導		○						○	
	1歳6か月児健診		○						○	
	2歳児歯科健診、歯科保健指導		○						○	
	3歳児健診		○						○	
	学校歯科検診等			○				○		○
	歯周疾患健康相談、健康教室				○	○			○	
歯周疾患検診(40・50・60・70歳)				○	○			○		
障害児者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保	心身障害児者歯科診療事業	3-(1)	○	○	○	○	○			○
	障害児者歯科医療システム2次3次診療機関運営事業	3-(2)	○	○	○	○	○			○
	障害児者歯科医療システム関係者会議	3-(3)	○	○	○	○	○			○
	永久歯等対策事業	3-(4)	○	○			○			○
	福祉施設巡回歯科相談・指導事業	3-(5)	○	○	○	○	○			○
	栃木県在宅歯科診療設備整備支援事業	3-(6)	○	○	○	○	○			○
	在宅歯科診療連携推進事業	3-(7)	○	○	○	○	○			○
	生涯にわたる歯科保健・医療の推進事業	3-(8)	○	○	○	○	○			○
歯科保健医療提供体制の整備	健康教育	4-(1)	○	○	○	○	○			○
	歯科保健指導者・医療従事者研修事業	4-(2)	○	○	○	○	○			○
	歯科保健推進協力交付金	4-(3)	○	○	○	○	○			
	栃木県歯科保健推進協議会	4-(4)	○	○	○	○	○			
	8020運動推進協議会	4-(4)	○	○	○	○	○			
	とちぎ歯の健康センター運営等協議会	4-(4)	○	○	○	○	○			
	歯科保健対策連絡調整会議	4-(5)	○	○	○	○	○		○	○
	歯科保健指導者講習会			○				○		

参考 とちぎ歯の健康センターについて

(1) センター概要

とちぎ歯の健康センターは、すべての県民の皆さんが歯及び口腔の健康について正しい知識をもち、一生涯自分の歯を守り、健康に過ごすことができるよう、本県の歯科保健対策を推進する拠点として、平成6年2月に開館しました。

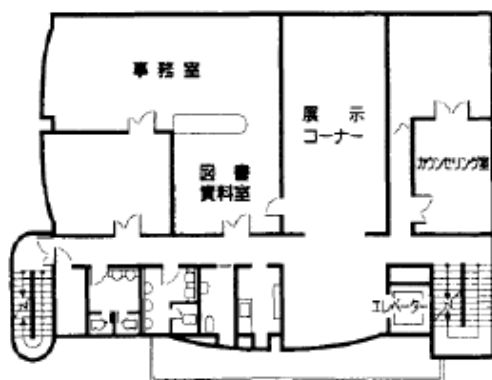
(2) 施設内容

- ・所在地 栃木県宇都宮市一の沢2丁目2番5号
- ・設置主体 栃木県
- ・運営主体 (一社) 栃木県歯科医師会
- ・開館時間 午前9時～午後5時
- ・休館日 土・日・国民の祝日、年末・年始
- ・連絡先 TEL 028-648-6480 FAX 028-648-6483

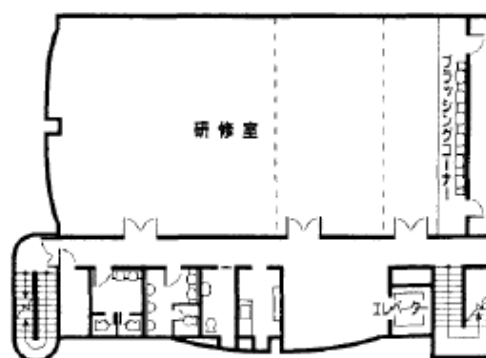
1階 障害者歯科診療所



2階 センター総合受付



3階 研修室



IV 平成 24 年度に講じた施策について

1 歯や口腔と関係する病気等の予防の推進関連事業

歯や口腔の病気の予防は、全身の健康づくりや疾病等の予防の観点からも重要であるので、歯や口腔の病気の予防等の各施策を適正に、効果的に進めていくため、調査研究や成果の普及、情報収集や提供に関する事業を実施しました。

(1) 健康相談

とちぎ歯の健康センターにおいて電話及び来所による歯科保健に関する相談を実施しました。
受付時間：午前 9 時～午後 4 時 30 分

ア.相談件数 97 件

イ.相談内容別内訳

内容	治療内容について						予防 指導	障害者等 の 歯科相談	その他	合計
	むし歯	歯周疾患	抜歯	補綴	矯正	その他				
件数	7	3	13	22	2	23	1	2	24	97

(2) 各種広報活動

テレビやラジオ等を活用し、歯科保健に関する様々なトピックについて普及啓発を行いました。

月	媒体等	内 容
5 月	情報誌（下野新聞 ASPO）	歯の衛生週間、歯の健康について
5・6・9 月	講演（大田原市・足利市）	県政出前講座：歯や口腔の重要性について
6 月	テレビ（とちぎテレビ）	県政ひとくちメモ（歯と口腔の健康づくり）
〃	ラジオ（CRT 栃木放送）	県政ナビ（歯と口腔の健康づくり）
〃	情報誌（下野新聞社 T たいむ）	「お口の健康」の自己診断
12 月	リーフレット（ファミリーマート）	歯科計画リーフレットの配布

(3) 歯の健康センターにおける普及啓発

「展示コーナー」、「図書資料室」における各種資料の展示及び各種広報、媒体を活用し普及啓発活動を展開しました。

ア.展示コーナー、図書資料室

- ・図書貸し出し 14 件（31 点）
- ・ビデオ等貸し出し 44 件（141 点）
- ・パネル、備品貸し出し 41 件（508 点）

イ.機関紙発行

「とちぎ歯の健康センターだより・第 19 号」発行

ウ.視察研修

内容：診療所、展示コーナー見学、センター事業の説明、研修、体験学習等

(4) フッ化物洗口実施支援事業

市町村や施設におけるフッ化物洗口実施支援事業を実施しました。

従事歯科医師数	対象者	実施人員
136 人	市町村及び施設	11,745 人

(5) 歯の衛生週間事業

歯の衛生週間に歯の衛生に関する正しい知識の普及を図るため、県内 11 ヶ所において講演会・保健指導を実施しました。

実施回数	対象者	参加者数
11 回	一般県民	6,006 人

(6) 栃木県歯科保健賞

昭和 52 年に栃木県歯科医師会が第 29 回保健文化賞を受賞したことを記念して制定されました。県内における歯科保健衛生の分野で、優れた業績を挙げた団体及び個人の功績に対して顕彰を行っています。

平成 24 年度の結果（平成 24 年 9 月 6 日審査会開催）

団体の部	該当無し
個人の部	高嶋 佳世子（歯科技工士）
	星野 小百合（歯科衛生士）

(7) 親と子のよい歯のコンクール・3 歳児よい歯のコンクール

親と子の口腔衛生の向上及び普及啓発を図るため、3 歳児健診を受診した幼児及びその親を対象にコンクールを実施しました。

ア.審査内容

- ・第 1 次審査（市町）：3 歳児健診結果の書類審査又は歯科診査により選出
- ・第 2 次審査（宇都宮市・各広域健康福祉センター）：歯科・内科診査により選出
- ・第 3 次審査（県）：7 月 5 日（木）とちぎ歯の健康センターにて歯科・内科審査を実施

イ.審査結果

コンクール名	審 査				審査結果		
	第 1 次 市町村	第 2 次 広域健康福祉センター	第 3 次 県	中央 (厚労省)	最優秀	優 秀	優 良
親と子	45 組	27 組	9 組	1 組	1 組	3 組	5 組
三歳児	363 人	120 人	12 人		1 人	3 人	8 人

(8) よい歯の優良学校コンクール

児童生徒の歯科保健の向上発展を図るため、栃木県教育委員会・栃木県歯科医師会との三者共催でコンクールを行いました。

ア.審査内容

平成24年9月6日(木)に審査会を実施し、各小・中学校の定期健診結果及び、学校保健活動の充実度、歯科保健活動の状況、う歯総数・処置歯率等を総合的に審査しました。

イ.審査結果

区分	参加校	栃木県知事賞	栃木県議会議長賞	栃木県教育長賞	栃木県医師会長賞	栃木県歯科医師会長賞	入選
小学校	231校	1	2	3	3	9	50
中学校	76校	1	2	3	3	9	20

	小学校の部	中学校の部
栃木県知事賞	宇都宮市立清原南小学校	那須町立那須中学校
栃木県議会議長賞	下野市立祇園小学校	大田原市立金田南中学校
	宇都宮市立陽南小学校	栃木市立都賀中学校
栃木県教育長賞	宇都宮市立瑞穂野北小学校	栃木市立西方中学校
	宇都宮市立昭和小学校	真岡市立大内中学校
	栃木市立西方小学校	佐野市立田沼西中学校
栃木県医師会長賞	壬生町立藤井小学校	那須塩原市立塩原中学校
	宇都宮市立岡本北小学校	宇都宮市立清原中学校
	那須塩原市立関谷小学校	小山市立小山第三中学校
栃木県歯科医師会長賞	上記 9校	上記 9校

(9) よい歯の図画・ポスター、作文、標語コンクール

歯の衛生週間事業の一環として、小中学校の児童から図画・ポスター、作文、標語を募集しました。

区分		特選	入選
図画ポスター	小学校	2	22
	中学校	1	10
作文	小学校	2	18
	中学校	1	8
標語	小学校	2	19
	中学校	1	9

(10) 歯科保健からの食育推進事業

平成 23 年度の「歯科保健からの食育推進事業」において作成した、歯科保健と食育の関わりについてのパネルを用いて、県内各地域のイベントに参加し普及啓発活動を実施しました。

この事業は、歯科保健の分野において食育を推進することは、生活習慣病や生活の質を高めるために非常に重要なものであることから、今後推進するために重要な役割を果たす、歯科専門職の食育推進の担い手を育成することを目的としています。

なお、この事業は国庫事業である「8020 運動推進特別事業」を活用し、実施しました。

(事業内容)

- ・ イベント参加に係る事前検討会
- ・ 地域イベントにおける食育活動の実施
- ・ 事後検討会及び報告書作成

2 歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及関連事業

県民の皆さん自らが歯や口腔の健康づくりの重要性を理解し実践に取り組むため、学習や歯科検診の機会の提供等に関する事業を実施しました。

(1) へき地巡回歯科診療

無歯科医地区を有する市町村の中で、要請のあった地域を訪問し、歯科巡回診療バス「ルリちゃん号」による地域住民の歯科診療を実施しました。

市町名	実施場所	実施回数 (回)	患者実人数 (名)	患者延人数 (名)
日光市	栗山小学校	6	10	46
那珂川町	馬頭東小学校	6	8	46
那珂川町	馬頭西小学校	9	6	40
合 計		24	24	132

(2) 各健康福祉センターでの健康教育

各健康福祉センターにおいて歯科保健に関する健康教育を実施しました。

	実施日	広域健康福祉センター	実施内容	対象者	参加人数(名)
1	6月12日	県南健康福祉センター	乳幼児健全育成	乳幼児と保護者	15
2	6月14日	県東健康福祉センター	〃	〃	12
3	7月12日	県東健康福祉センター	〃	〃	7
4	7月17日	安足健康福祉センター	〃	〃	18
5	9月28日	県西健康福祉センター	〃	〃	10
6	11月8日	県東健康福祉センター	〃	〃	10
7	12月11日	県西健康福祉センター	〃	〃	10
8	12月19日	県西健康福祉センター	〃	〃	11
合 計					93

(3) 永久歯等対策事業（保育所・幼稚園）

県内の保育所・幼稚園の幼児と保護者等を対象として、歯科衛生士が「六歳臼歯の重要性」を中心に歯科保健指導を行いました。

幼稚園・保育所（実施回数：20回、対象者総数：935人）

	実施日	市町村名	施設名	対象者数		
				幼 児	保 護 者	職 員
1	6月6日	益子町	たから幼稚園	27	9	3
2	6月14日	下野市	下野市グリム保育園	30	19	5
3	7月4日	那須塩原市	すぎのこ幼稚園	21	21	3
4	7月11日	那須町	那須幼稚園	26	26	3
5	7月18日	栃木市	アルス幼稚園	44	42	3
6	7月25日	小山市	こぼとキッズ	9	1	2
7	8月7日	足利市	足利市みなみ保育所	18	7	4
8	8月24日	岩舟町	岩舟町いわふね保育園	25	12	3
9	8月28日	那須塩原市	ひばりヶ丘保育園	20	4	3
10	9月4日	真岡市	真岡市立真岡保育所	30	19	4
11	10月9日	足利市	東光寺幼稚園	51	43	4
12	10月16日	佐野市	大栗保育園	17	15	3
13	10月23日	下野市	第二薬師寺幼稚園	54	43	4
14	11月6日	足利市	双葉学園旭幼稚園	32	28	3
15	11月20日	那須塩原市	那須塩原市とようら保育園	19	19	3
16	11月21日	佐野市	佐野市ときわ保育園	15	14	4
17	12月4日	足利市	足利本城保育園	20	12	5
18	12月11日	那須烏山市	宮原保育園	6	6	1
19	1月21日	足利市	友愛幼稚園	20	13	2
20	1月23日	真岡市	せんだん幼稚園	20	14	2
合 計				504	367	64

3 障害者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保関連事業

歯科検診等を受けることが難しい状況にある障害児者や要介護高齢者等に対する、歯科保健医療サービスを確保するための事業を実施しました。

(1) とちぎ歯の健康センター診療所

1階の診療所において、障害児者を対象に歯科診療を実施しました。

ア.診療体制

- ・診療日 月曜日～金曜日（予約制）
- ・診療時間 午前：9時～12時、午後：1時30分～4時30分
- ・スタッフ
 - 午前：歯科医師 1名(常勤)水・木3名(常勤1名、輪番制診療実行委員2名)
 - 歯科衛生士 6名(常勤)
 - 午後：歯科医師 3名(常勤1名、輪番制診療実行委員2名)
 - 歯科衛生士 7名(常勤6名、他1名)

イ.診療実績 実診療日数：235日

患者延人数(名)	新患	89
	再来	4,412
	合計	4,501
職員延人数(名)	歯科医師	633
	歯科衛生士	1,375
	合計	2,008

ウ.月別患者数

月	患者延人数 (名)	診療日数 (日)	1日平均 患者数(名)
4月	367	20	18
5月	372	20	18
6月	416	21	19
7月	404	20	20
8月	382	18	21
9月	346	19	18
10月	406	22	18
11月	403	21	19
12月	342	17	20
1月	337	18	18
2月	343	19	18
3月	383	20	19
合計	4,501	235	—
平均	—	—	19

(2) 障害児者歯科医療システム 2次・3次診療機関運営事業

障害者の口腔衛生管理の充実のため、障害者歯科医療システム 2次・3次診療機関（重度障害者が対象）の運営経費に対して補助を実施しました。

2次診療機関…やや重度の障害者を対象とする診療機関

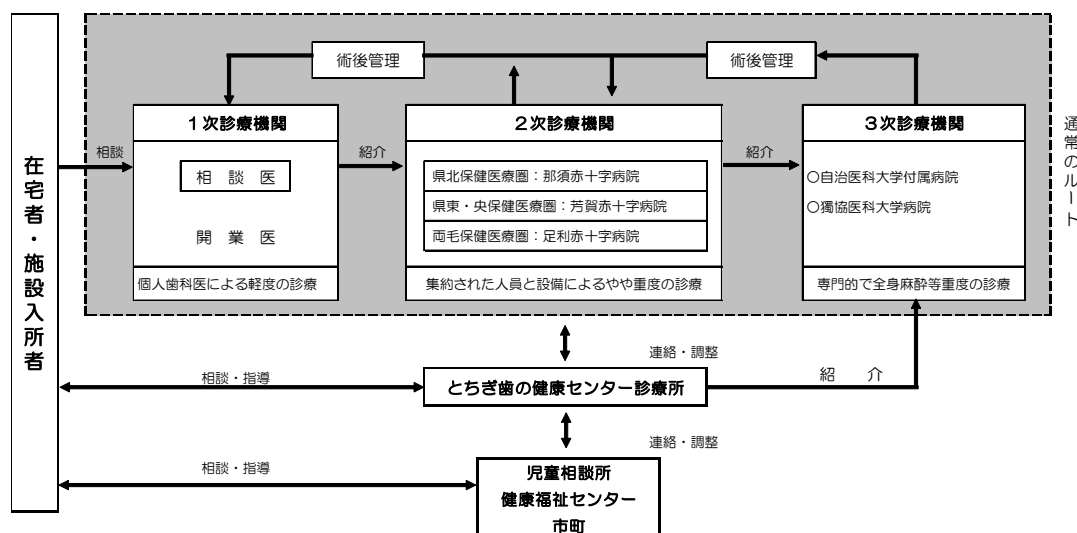
- ・那須赤十字病院
- ・芳賀赤十字病院
- ・足利赤十字病院

3次診療機関…2次診療機関で対応できない重度者を対象とする

- ・自治医科大学附属病院
- ・獨協医科大学病院

参考 栃木県心身障害児者歯科医療システム図

県では、心身障害児者が歯科医療を受診する機会を確保するために 1次診療機関（地域の歯科診療所）、2次診療機関（やや重度の障害者が受入れ可能な赤十字病院）、3次診療機関（2次診療機関で対応できない重度者を受け入れる大学病院）と位置付け、「栃木県心身障害児者歯科医療システム」を構築しています。



(3) 障害児者歯科医療システム関係者会議

県が構築している「栃木県心身障害児者歯科医療システム」について、現在の状況や実績を把握し、より良い歯科保健医療サービスの環境を整えることを目的に、関係者による意見交換会を開催しました。なお、この会議は国庫事業である「8020 運動推進特別事業」を活用しました。

- ・日時及び場所：平成 25 年 3 月 19 日（火）午後 5 時～7 時 県庁本館 9 階会議室 3
- ・出席者：18 名 栃木県心身障害児者歯科医療システム関係者 11 名（那須・芳賀・足利赤十字病院、自治医科大学病院、獨協医科大学、県歯科医師会）事務局 7 名（健康増進課、障害福祉課）

・議 題：

1) 栃木県心身障害児者歯科医療システムについて

- ・システムについて、及び 2 次 3 次診療機関の診療実績等について報告をしました。

2) 栃木県心身障害児者歯科医療システムの現状について

- ・1 次診療機関の診療実績や、とちぎ歯の健康センター受診者の居住地分布を踏まえ、現システムの問題点や課題等について意見交換を行いました。

(4) 永久歯等対策事業（障害児通園施設・特別支援学校対象）

障害児通園施設通所児と保護者、指導者等、特別支援学校児童と保護者、教諭等を対象に歯科衛生士が「六歳臼歯の重要性」を中心に集団指導及び個別相談指導を行いました。

ア.障害児通園施設（実施回数：12回、対象者総数：180人）

	実施日	市町村名	施設名	対象者数（名）		
				幼 児	保 護 者	職 員
1	6月4日	真岡市	真岡市心身障害児通園ホーム ひまわり園	7	7	4
2	6月4日	矢板市	社会福祉法人たかはら学園 こども発達支援センター たけのこ園	7	7	4
3	8月24日	那須烏山市	烏山地区こども発達支援センター くれよんクラブ	8	8	3
4	9月3日	那須塩原市	那須地区広域行政事務組合 こども発達支援センター なすの園	6	6	1
5	9月3日	大田原市	特定非営利活動法人 障害児者トータルサポートセンター 空（佐久山事業所）	3	1	3
6	9月11日	大田原市	特定非営利活動法人 障害児者トータルサポートセンター 空（親園事業所）	3	0	3
7	10月5日	日光市	日光市こども発達支援センター つばさ園	4	4	3
8	10月16日	大田原市	社会福祉法人エルム福祉会 Smile	7	6	3
9	10月23日	栃木市	栃木市社会福祉協議会 キッズホームとちぎ	9	9	3
10	11月13日	岩舟町	社会福祉法人すぎのこ会 児童通所支援事業所 ひまわり	4	4	3
11	1月15日	壬生町	社会福祉法人壬生町社会福祉協議会 壬生町こども発達支援センター ドリームキッズ	5	5	4
12	1月29日	鹿沼市	こども発達支援センター 鹿沼市あおば園	12	12	2
合 計				75	69	36

イ.特別支援学校（実施回数：8回、対象者総数：179人）

	実施日	市町村名	施設名	対象者数（名）		
				児 童	保 護 者	職 員
1	6月19日	益子町	益子特別支援学校	6	5	4
2	7月3日	那須烏山市	南那須特別支援学校	4	4	3
3	9月21日	栃木市	栃木特別支援学校	11	9	4
4	9月24日	那須塩原市	那須特別支援学校	19	4	8
5	10月30日	宇都宮市	のざわ特別支援学校	8	5	4
6	11月5日	宇都宮市	富屋特別支援学校	20	13	8
7	12月7日	下野市	国分寺特別支援学校	13	10	5
8	2月15日	宇都宮市	宇都宮大学教育学部附属特別支援学校	4	4	4
合 計				85	54	40

(5) 福祉施設巡回歯科相談・指導事業

要請のあった障害者施設及び老人施設を訪問し、歯科巡回診療バス「ルリちゃん号」による歯科健診、相談、指導を実施しました。

	市町村名	施設名	実施回数	健診者数	口腔衛生指導人数	
1	宇都宮市	特別養護老人ホーム 高砂荘	1	30	9	
2	鹿沼市	特別養護老人ホーム かぬま四季の里	3	42	3	
3	〃	障害者支援施設 シンフォニーあわの	1	18	8	
4	日光市	特別養護老人ホーム きびたき荘	4	50	21	
5	〃	特別養護老人ホーム 誠心園	3	48	1	
6	〃	障害者支援施設 すぎなみき学園	2	35	1	
7	真岡市	特別養護老人ホーム きたはら	1	13	1	
8	益子町	障害者支援施設 光輝舎	3	47	7	
9	栃木市	特別養護老人ホーム まろにえ四季の里	1	16	1	
10	〃	特別養護老人ホーム 雅の風	1	14	6	
11	〃	特別養護老人ホーム みつみねの郷	1	20	1	
12	〃	特別養護老人ホーム ひまわり	3	47	4	
13	〃	特別養護老人ホーム 緑風苑	1	26	0	
14	小山市	特別養護老人ホーム サンフラワーグリーンホーム	2	27	12	
15	大田原市	特別養護老人ホーム 晴風園	3	56	5	
16	〃	特別養護老人ホーム 晴風園みどりの郷	1	20	5	
17	〃	特別養護老人ホーム 山百合荘	1	24	3	
18	矢板市	知的障害児施設 たかはら学園 知的障害者更生施設 たかはら育成園	2	38	11	
19	佐野市	特別養護老人ホーム 明水の里	1	19	8	
20	〃	介護老人福祉施設 ゆずりは	1	17	2	
合 計				36	607	109

(6) 栃木県在宅歯科診療設備整備支援事業

在宅歯科医療に必要な設備整備を支援し在宅歯科医療の実施体制強化を図り、障害児者や要介護者が住み慣れた地域で必要な歯科医療や保健指導を受ける機会を確保するため、在宅歯科診療を実施するために必要なポータブル診療ユニット機器等の購入に要する経費に対して補助を実施しました。

- ・ 交付の相手方（6 団体）

上都賀歯科医師会、日光歯科医師会、下都賀歯科医師会、小山歯科医師会、足利歯科医師会、那須歯科医師会

(7) 在宅歯科診療連携推進事業

障害者・要介護者等が住み慣れた地域で必要な歯科医療や保健指導を受ける機会を確保するため、地域における在宅歯科診療連携体制の整備を図りました。

- ・ 検討内容

各地域における連携体制の構築、在宅歯科診療で使用する医療機器の運用方法、医療機器の選定等

- ・ 検討実施団体

上都賀歯科医師会、日光歯科医師会、下都賀歯科医師会、小山歯科医師会、足利歯科医師会、那須歯科医師会

(8) 生涯にわたる歯科保健・医療の推進事業

全身の健康の向上の観点から、要介護者等の口腔機能向上を図ることを目的に、地域単位での介護現場における口腔ケアを推進するため、歯科医師・歯科衛生士などの歯科専門職が講師となり、看護及び介護従事者等を対象とした実践的な研修会を開催しました。

- ・ 実施地域（5 地域／市町）

宇都宮市、大田原市、那珂川町、真岡市、日光市

4 歯科保健医療提供体制の整備関連事業

県民の皆さんの生涯にわたる健康の保持増進を図るために、保健、医療、福祉、教育等関係者の資質向上や連携強化を図るための事業を実施しました。

(1) 健康教育

歯科保健に関する健康教育を実施しました。

実施日	実施内容	対象者	参加人数(名)
9月27日～ 12月6日	歯科保健指導・体験学習	栃木県歯科医師会 歯科助手認定講習会受講者	52
11月8日～ 12月11日	学生に対する指導教育	栃木県立衛生福祉大学校 歯科衛生学科学生	29

(2) 歯科保健指導者・歯科医療従事者研修会

歯科保健指導者、歯科医療従事者を対象に教育・研修を実施しました。

開催日	内容・講師	対象者	参加人数(名)
2月17日	障害者歯科における連携医療 ～地域の2次医療機関を核として～ 昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔衛生学部門 向井美恵 教授	歯科医師 歯科衛生士	78

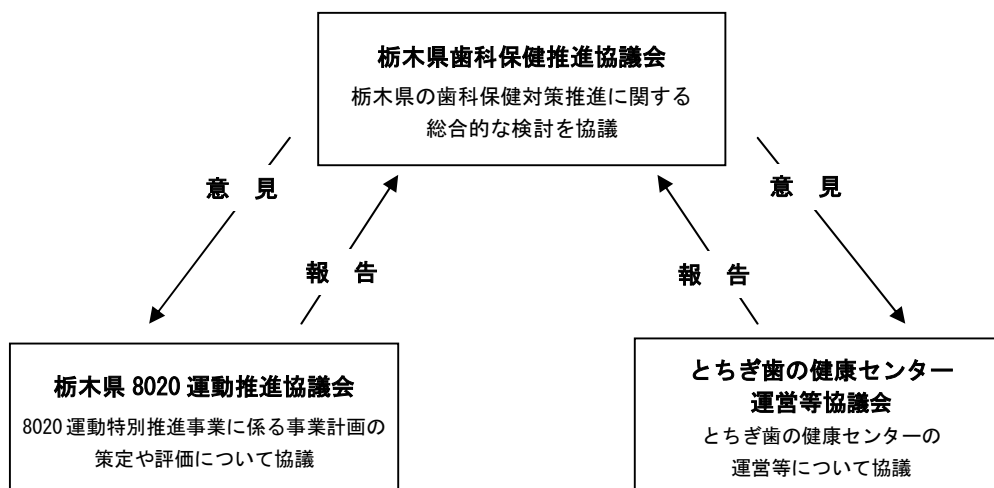
(3) 歯科保健推進協力交付金

(一社) 栃木県歯科医師会で実施する歯科保健対策推進事業への支援を実施しました。

(4) 歯科保健対策関連協議会

県では本県における歯科保健対策事業の充実を図るため、3つの協議会を設置しています。

ア.各協議会の関連性



イ.栃木県歯科保健推進協議会

本県における歯科保健対策を推進するため、様々な分野の専門家を協議会委員に委嘱し、本県の総合的な歯科保健対策事業について協議しています。

(ア) 平成 24 年度第 1 回栃木県歯科保健推進協議会の結果について

- ・ 日 時：平成 24 年 8 月 30 日（木）午前 10 時～12 時
- ・ 場 所：県庁本館 9 階会議室 3
- ・ 出席者： 委員 13 名
- ・ 議 題：
 - 1) 栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例第 10 条に基づく議会への報告について
 - ・ 県内の歯及び口腔の健康づくりの状況、県が歯及び口腔の健康づくりの推進に関して平成 23 年度に講じた施策及び平成 24 年度に講じようとする施策について報告をしました。
 - 2) 次期健康増進計画の策定について
 - ・ 次期健康増進計画の策定について事務局から説明し、各委員から意見を聴取しました。
 - 3) 栃木県保健医療計画（6 期計画）について
 - ・ 栃木県保健医療計画における医科歯科連携の推進について各委員から意見を聴取しました。

(イ) 平成 24 年度第 2 回栃木県歯科保健推進協議会の結果について

- ・ 書面協議を開催しました。
- ・ 議 題：

栃木県健康増進計画「とちぎ健康 21 プラン」（2 期計画）（素案）について

 - ・ 栃木県健康増進計画について書面にて各委員から意見を聴取しました。

(ウ) 栃木県歯科保健推進協議会委員（H24）

	氏 名	所属・役職等
1	柴田 勝	栃木県歯科医師会会長
2	中津 道昭	栃木県歯科医師会副会長（学校保健担当）
3	瓦井 昭二	栃木県歯科医師会常務理事（地域保健担当）
4	前原 操	栃木県医師会副会長
5	林 幸子	栃木県歯科衛生士会会長
6	菊地 澄男	栃木県歯科技工士会会長
7	甲斐 典子	栃木県老人福祉施設協議会理事（特養うづま荘施設長）
8	松島 三枝子	栃木県保育協議会理事（宇都宮市立松原保育園長）
9	茂垣 幸夫	市町村代表（茂木町保健福祉課長）
10	臼井 智子	栃木県市町村保健師業務研究会副会長（栃木市健康福祉課）
11	川俣 浩	中核市（宇都宮市健康増進課長）
12	武藤 孝司	栃木産業保健推進センター所長
13	川田 容子	栃木県栄養士会理事（福祉協議会長）
14	鈴木 美恵子	栃木県食生活改善推進団体連絡協議会会長
15	青山 旬	栃木県立衛生福祉大学校歯科技術学部長

- ・ 任期：2 年間（H23.8.22～H25.8.21）

ウ.8020 運動推進協議会

国庫補助事業の歯科保健医療対策事業「8020 運動推進特別事業」を活用して実施する本県の歯科保健対策事業について協議しています。

(ア) 平成 24 年度栃木県 8020 運動推進協議会について

- ・ 日 時：平成 25 年 3 月 7 日（木）午後 2 時 30 分～3 時 20 分
- ・ 場 所：とちぎ歯の健康センター 3 階研修室（宇都宮市一の沢 2-2-5）
- ・ 出席者： 委員 7 名
- ・ 議 題：
 - 1) 平成 24 年度 8020 運動推進特別事業の実施状況について
 - 2) 平成 25 年度 8020 運動推進特別事業の実施計画案について

(イ) 8020 運動推進協議会委員（H24）

	氏 名	所属・役職等
1	柴田 勝	栃木県歯科医師会会長
2	田村 一夫	栃木県歯科医師会専務理事
3	瓦井 昭二	栃木県歯科医師会常務理事
4	林 幸子	栃木県歯科衛生士会会長
5	鈴木 美恵子	栃木県食生活改善推進団体連絡協議会会長
6	新島 美智子	栃木県教育委員会事務局健康福利課長
7	青山 旬	栃木県立衛生福祉大学校歯科技術学部長

- ・ 任期：1 年間（H25.3.1～H26.2.28）

エ.とちぎ歯の健康センター運営等協議会

とちぎ歯の健康センターを拠点とした障害者歯科診療、巡回歯科相談・指導、歯科保健に関する相談・指導及び普及啓発等に関する事業の実施内容の充実について協議しています。

(ア) 平成 24 年度とちぎ歯の健康センター運営等協議会について

- ・ 日 時：平成 25 年 3 月 7 日（木）午後 3 時 30 分～4 時 30 分
- ・ 場 所：とちぎ歯の健康センター 3 階研修室（宇都宮市一の沢 2-2-5）
- ・ 出席者： 委員 4 名
- ・ 議 題：
 - 1) とちぎ歯の健康センター事業概要について
 - 2) 平成 23 年度とちぎ歯の健康センター事業実績及び平成 24 年度事業実施状況について
 - 3) 平成 25 年度の事業実施について

(イ) とちぎ歯の健康センター運営等協議会委員 (H23)

	氏 名	所属・役職等
1	柴田 勝	栃木県歯科医師会会長
2	田村 一夫	栃木県歯科医師会専務理事
3	入野 光市	栃木県歯科医師会常務理事
4	林 幸子	栃木県歯科衛生士会会長

・任期：2年間 (H24.3.1～H26.2.28)

(5) 歯科保健対策連絡調整会議

県からの情報提供及び各市町の歯科保健対策の実施状況について情報交換をし、地域における歯科保健対策の推進や連携体制の構築を図ることを目的とし、平成21年度から開催しています。

平成24年度栃木県歯科保健対策連絡調整会議の結果について

- ・日時及び場所：平成24年10月2日(火) 午後2時～4時30分
- ・場 所：とちぎ歯の健康センター 3階研修室
- ・出席者：県及び市町等において歯科保健事業に携わる職員 33名
- ・議 題：
 - 1) 栃木県の歯科保健事業について
 - 2) 8020運動の推進について
 - 3) 市町における歯科保健事業について
 - 4) 栃木県歯科衛生士会の活動状況について
 - 5) 栃木県歯科保健基本計画について
 - 6) 歯科口腔保健の推進に関する基本的事項について
 - 7) とちぎ歯の健康センターについて

V 平成25年度に講じようとする施策について

事業名 予算額 (千円)	事業説明	事業内容等	予防の 推進	啓発と 普及 の 啓発と 検診	障害児者等	体制 整備等
歯の健康 センター事業 (29,803)	とちぎ歯の健康センターを拠点とした障害者歯科診療、巡回歯科相談、歯科保健に関する相談・指導及び普及啓発等に要する経費	<ul style="list-style-type: none"> 普及啓発 相談事業（電話相談等） 永久歯対策事業 歯科保健従事者研修会 心身障害児者歯科診療 福祉施設巡回歯科健診・相談 歯の衛生週間事業 フッ素洗口事業 	○ ○ ○ ○	○	○ ○	○
8020運動推進 事業 (2,474)	80歳になっても自分の歯を20本以上保つことを目標とした各種事業の展開	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の開催 障害者歯科医療システム在り方検討会議 歯科保健からの食育推進事業 	○		○	○ ○
歯科保健普及 啓発事業 (2,860)	歯科保健事業の充実及びその連絡調整事務等に要する経費	<ul style="list-style-type: none"> 非常勤嘱託員人件費等 よい歯のコンクール 地域における歯科保健対策の推進 	○			○ ○
歯及び口腔の 健康づくり推 進事業費 (2,306)	県民の歯及び口腔の健康づくりを推進するために要する経費	<ul style="list-style-type: none"> 協議会開催費用 普及啓発 成人歯科健診事業 	○	○		○
地域での健康 づくり・医療 連携環境整備 事業 (41,943)	地域医療再生計画に基づく、地域での健康づくり・医療連携環境整備事業の実施に要する経費	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたる歯科保健・医療の充実推進事業 在宅歯科診療連携事業 医療機器の更新整備 			○ ○ ○	○ ○
障害者歯科医 療システム推 進事業 (6,750)	障害の状態と歯科疾患の程度に応じ、必要な治療を受けやすくすることを目的とするシステムのより円滑な運営のために要する経費	<ul style="list-style-type: none"> 障害者歯科医療システム2次・3次診療機関への運営経費に対するの補助 			○	
歯科保健推進 協力交付金 (7,200)	栃木県歯科医師会が実施する歯科保健対策事業に対する交付金	<ul style="list-style-type: none"> 栃木県歯科医師会に対しての交付金 				○
(93,336)						

VI 資料：県内市町におけるライフステージごとの取組(平成24年度)

ライフステージごとの事業実施一覧

事業 市町名	妊産婦	乳児	1歳6ヶ月児	2歳児	3歳児	幼児	フッ化物	学童生徒	成人	歯周疾患検診	高齢者	全ライフステージ *1	計画 *2
宇都宮市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鹿沼市	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日光市			○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
真岡市			○	○	○	○	○		○	○	○		○
益子町	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
茂木町	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○
市貝町		○	○	○	○	○			○	○	○		○
芳賀町			○	○	○	○	○	○		○	○		○
栃木市	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
小山市		○	○		○	○	○	○		○	○	○	○
下野市	○	○	○		○	○	○	○		○	○		○
上三川町			○	○	○	○	○			○	○		○
壬生町			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
野木町	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
岩舟町			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
大田原市		○	○	○	○	○	○	○	○		○		○
矢板市	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○
那須塩原市			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さくら市			○	○	○	○	○		○		○		○
那須烏山市	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
塩谷町		○	○	○	○	○	○		○		○		○
高根沢町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
那須町			○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
那珂川町		○	○	○	○	○	○	○		○	○		○
足利市			○		○	○	○	○	○	○		○	○
佐野市	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
合計	11	14	26	21	26	26	24	17	19	22	25	13	25

*1 全住民を対象としたイベント事業

*2 健康増進計画内に歯科が盛り込まれている計画